

▼ラソダ錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】ルラシドン塩酸塩 Lurasidone Hydrochloride 【分類】抗精神病薬/双極性障害のうつ症状治療薬

【単位】▼20mg・▼40mg・▼60mg・▼80mg/錠

【常用量】

■統合失調症：40mg/日 [最大 80mg]

■双極性障害におけるうつ症状の改善：開始量 20mg, 増量幅 20mg, 維持量 20～60mg/日

【用法】1日1回, 食後

【透析患者への投与方法】腎障害患者の投与方法に準じる (5) Ccr 30 未満でAUCが2倍 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】

■統合失調症：Ccr<50：開始量 20mg, 増量幅 10mg, Ccr<30：維持量 20～60mg

■双極性障害：Ccr<50：開始量 10mg, 増量幅 10mg (1)

【特徴】ドパミン D2, セロトニン 5-HT_{2A}, 5-HT₇ 受容体への拮抗作用, 5-HT_{1A} 受容体への部分作用を有する非定型抗精神病薬。統合失調症患者における精神症状, 双極性障害患者におけるうつ症状に効果を認める。空腹時投与で吸収率が落ちるので, 食後投与が原則。

【主な副作用・毒性】悪性症候群, 遅発性ジスキネジア, 痙攣, 高血糖, 肺塞栓症, 横紋筋融解症, 無顆粒球症, 精神神経症状, 錐体外路症状, プロラクチン上昇, 消化器症状, 肝障害, 排尿障害, 体重増加など多数

【安全性に関する情報】過量投与例で錐体外路症状, 昏睡, 呼吸抑制, 不整脈, 低血圧等の出現 (1)

傾眠, 血中プロラクチン上昇, 不穏が主な副作用で用量依存的 (Hu C, et al: Clin Drug Investig 2017 PMID: 28695535)

【吸収】空腹時投与で吸収率低下 (1, Preskorn S, et al: Hum Psychopharmacol 2013 PMID: 24014143)

【F】12～18% (1) 9.2～19%が吸収 (1)

【tmax】1～3hr (Greenberg WM, et al: Clin Pharmacokinetics 56: 493-503, 2017 PMID: 27722855)

【代謝】CYP3A4 で代謝 (1) 一部の代謝物に活性はあるが寄与率は低い (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 0.2%以下 [po, 48hr まで] (1) P-gp, トランスポータの関与は低い (1)

【t_{1/2}】22hr (1) 18hr (Greenberg WM, et al: Clin Pharmacokinetics 2017 PMID: 27722855) 18～25hr (Hu C, et al: Clin Drug Investig 2017 PMID: 28695535)

【蛋白結合率】99.8%以上 (1)

【Vd/F】6173 L/man (Greenberg WM, et al: Clin Pharmacokinetics 2017 PMID: 27722855)

【MW】529.14

【透析性】資料なし (1) 除去されないと思われる (5)

【OW 係数】

【薬物動態】治療量で線形 (Hu C, et al: Clin Drug Investig 2017 PMID: 28695535)

【相互作用】CYP3A 阻害剤, 誘導剤との併用禁忌・注意多数あり (1)

【主な臨床報告】双極性障害での効果は用量依存的 (Chapel S, et al: Clin Ther 2016 PMID: 26730454)

薬理作用における解明点と不明点 (Fountoulakis KN, et al: Eur Neuropsychopharmacol 2015 PMID: 25596883)

【更新日】20241007

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。